

木の温もり感じながら

前芝中 新体育館で入学式



アーチ型の天井が印象的な体育館で行われた入学式 (豊橋市前芝中学校で)

豊橋市立の公立中学校で7日、入学式が始業式があった。こ

のうちに前芝中学校では、先月完成したばかりの新しい体育館

で式典が行われ、生徒たちは木のぬくもりを感じながら新学期を迎えた。

体育館は鉄筋コンクリート造り(二部木材・鉄骨造り)延べ1196平方メートルで、市内の学校体育館で初めて木構造を採用。東三河産など国産材を使い、天井を支える骨組みをアーチ状の小屋組みにした。真新しい木の香が漂う中で行われた式

典で、谷中緑校長は「完成したばかりのこの体育館の第1回目の新入生としての誇りを持って、このピカピカに輝く体育館にふさわしい前芝中生徒になってください」と呼びかけた。

新入生を代表して、齋藤末琉さんは「新しい気持ちで、皆で力を合わせ励ましながら頑張っていきたいと思います」と誓いの言葉を述べた。在校生歓迎の言葉として、生徒会代表の石河大雅君(3年)は「分らないことは、いつでも優しい先輩や先生に聞いて」と語りかけた。

体育館は、柔剣道場や技術室棟とともに昨年3月から1年

かけて建設された。3棟の総事業費は約6億円。
(中嶋真吾)